

# 「静岡市夜間景観整備計画」(案)の概要

## 計画の基本的な考え方

### 《背景》

- ①静岡市では観光交流客数(=観光入込客数)に占める宿泊客数の割合が低く、「日帰り・通過型」の観光地となっている
- ②日帰りと宿泊旅行では、一人当たりの消費支出額に大きな差があり、期待される経済波及効果に大きな差が生じる

### 《目的》

魅力的な夜間景観を活用した夜間帯の観光(ナイトツーリズム)の振興により、**「夜も観光を楽しめるまち」**としてブランディングを進め、

**観光客の滞在時間延伸・宿泊客数の増加**につなげます。

### 《基本的な考え方》

- ▶既存の観光資源や誘客契機の有効活用
- ▶ソフト事業とハード事業の好循環創出
- ▶住民や事業者の機運醸成

「日本夜景遺産」に  
認定された  
“日本平の夜景”を核とし、  
夜の観光資源の充実を図る

## エリアごとの計画概要

### 駿府城公園エリア

### 江戸のオリジン・歴史体感夜景



…ライトアップにより歴史的な魅力を引き立て、市街地との連携で賑わいを創出

- 【現状評価】  
 (魅力・特長) 駿府の歴史を物語る遺構/歴史情緒を感じる建造物/本物の歴史の迫力  
 (取組内容) ◆園内の整備事業等と連動し、静岡市のシンボルとしての夜間景観を磨き上げ  
 ◆イベント等での夜間活用を促進/歴史観光事業や中心市街地でのソフト事業と連携

### 【評価指標(KPI)】

評価指標(KPI)	現状値(R4)	中間目標値(R8)	最終目標値(R12)
魅力的な夜景スポットとしての認知度	—	40%	50%
景観照明の延べ整備箇所数	1箇所	3箇所	—

## 計画期間・対象エリア・取組の柱・目指す姿

《計画期間》 令和5年度～令和12年度(8年間) ※第4次静岡市総合計画と整合

### 《対象エリア》

駿府城公園エリア  
(ハード・ソフト事業並行)

日本平・清水エリア  
(ソフト事業先行)

早期の事業効果創出が期待できるエリア 本市ナイトツーリズムの“核”となる夜景

### 《取組の柱》

- ①静岡夜景のブランディング
- ②夜の日本平の集客力向上
- ③夜間の観光コンテンツの充実

目指す姿	参考値(R1:コロナ前)	現状値	中間目標値(R8)	最終目標値(R12)
市内延べ宿泊客数	2,005千人泊/年	1,628千人泊/年(R3)	2,122千人泊/年	2,166千人泊/年
観光消費額単価	—	《日帰り》 4,413円/人 《宿泊》 27,094円/人 (R4)	《日帰り》 4,634円/人 《宿泊》 28,449円/人	《日帰り》 4,854円/人 《宿泊》 29,803円/人

※「第4次静岡市総合計画」の目標に基づき、夜間帯の観光振興によって寄与が期待される数値目標を、「目指す姿」として設定。  
 ※「市内延べ宿泊客数」は「第4次静岡市総合計画」における「観光交流客数」の増加目標を基に設定。

### 日本平・清水エリア

### (日本平)世界屈指・富士と港の大夕夜景 (清水港)富士の裾野・観光と産業の港夜景



…日本平夜景の魅力を最大限活用し、夜間の集客・市内滞在を創出

- 【現状評価】  
 (魅力・特長) 「富士山」や「日本三大美港・清水港」が彩る見事な夜景  
 (取組内容) ◆国内外への情報発信/観光コンテンツ化(住民や事業者と連携)  
 ◆関連事業(日本平公園や港湾整備等)の進捗に応じた照明整備、受入環境整備の検討

### 【評価指標(KPI)】

評価指標(KPI)	現状値(R4)	中間目標値(R8)	最終目標値(R12)
日本夜景遺産としての認知度	37.5%	50%	60%
個別整備の実施方針(視点場を含む)	—	決定	(方針決定による整備実施)

## 事業計画(予定)

年度	~R4 (~2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
点灯(東御門・異櫓)	実施				
駿府城公園エリア	点灯(東御門・異櫓)		点灯(坤櫓ほか)		点灯(天守台野外展示ほか)
事業計画	夜間景観整備(駿府城公園) 先行整備 静岡夜景のブランディング 点灯式等各種メディアへのPR 夜景HPの活用 夜間の観光コンテンツの充実 地域経済団体との連携(回遊性強化)	整備①(設計) 夜景HPの活用、海外向け情報発信強化、夜景ガイド育成・活用 駿府城公園各施設(歴史博物館、東御門・異櫓、葵舟等)との連携	整備①(工事) 点灯式等各種メディアへのPR 夜の歴史まちあるき/食歩歩きツアー(宿泊施設・商店街等との連携)	整備②(設計)	整備②(工事) 点灯式等各種メディアへのPR 公民連携による夜間の観光コンテンツの充実
関連事業	駿府城公園再整備 ●歴史博物館グランドオープン 大河ドラマ館開館				

- ・観光コンテンツの充実を図りながら、R8年度までを目途に駿府城公園内における照明整備を完了予定。
- ・R9～R12年度は、整備された夜間景観を活用し、歴史観光や市街地と連携した夜の観光コンテンツの更なる充実を図る。

年度	~R4 (~2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
日本平・清水エリア					「日本夜景遺産」認定10周年
事業計画	夜間景観整備(日本平・清水) 対象物の評価 静岡夜景のブランディング HP活用・夜景フォトコンPR動画の制作 夜の日本平の集客力向上 日本平夜市の盛り上げ(イベント拡充等) 夜間シャトルバス試験運行 夜間の観光コンテンツの充実 アフターMICE・外国人向けモニターツアー	評価結果に基づく個別整備の実施方針を検討 日本平山頂の夜景観賞地としての滞在環境向上を検討 夜景HPの活用、海外向け情報発信強化、夜景ガイド育成・活用 夜景ガイド育成 民間イベントとの連携継続・拡大 民間イベントの拡大・集積促進 夜間シャトルバス試験運行(継続・拡大) 夜間アクセスの充実検討(バスツアー化、事業者の自主運行支援等)	モニターツアーの継続・拡大 アフターMICEにおける夜景観賞ツアー等の造成促進 外国人観光客向けの夜間の観光商品の造成促進		
関連事業	【清水港みなと色彩計画】色彩協議による景観形成の促進 【日の出ふ頭】防潮堤・緑化整備/岸壁・歩道整備/既存施設(上屋・倉庫群等)の活用検討等 【清水駅周辺】あかりによるまちづくり(しみずまちなか夢あかり) 【日本平公園】平原ゾーン・駐車場・センター施設等順次整備				●海洋・地球総合ミュージアムオープン(予定)

- ・夜間の誘客や観光商品づくりに努めながら、個別の照明整備等の実施方針を検討する。
- ・連携イベントやモニターツアー等の結果を踏まえ、順次、民間ベースでの観光商品としての定着を図っていく。

これまでの夜景観光関係の取組(抜粋)

平成28年度(2016年度)



- 「日本平」が日本夜景遺産に認定  
(夜景サミット2016in藤沢にて認定証授与)

令和元年度(2019年度)

夜景サミット2019in静岡(R1.10)



- 日本平観光協会とともに誘致・開催
- サミット参加者数:275人
- イベント「ヒカリノイタダキ」開催
- 「梶原山公園」「エスパルスドリームプラザ観覧車ドリームスカイ」が日本夜景遺産に認定

令和2年度(2020年度)

ドライブインシアター(R2.7)



- 日本平夜市×静岡市共催
- 接触を回避したイベントの試行
- 2日間で170台が参加、高い満足度

令和3年度(2021年度)

観光商品の試行販売(R3~)



- 国の補助事業等を活用した商品開発(民間)
- ナイトクルーズ(花火・船上ヨガ)
- 夜景タクシーツアー(マイクロツーリズム)

- 夜景観光コンベンション・ビューロー監修
- 夜景スポットや夜間イベントを紹介
- 約1年強で15万PV(ページビュー)獲得

ワンダー夜市(R4.3)



- 日本平夜市×静岡市共催
- 来場者に夜の日本平を発信
- 野外上映会とフォトスポット設置
- 蔓延防止解除直後もコロナ以前の水準

夜景HP開設(R3.12)



令和4年度(2022年度)

夜景観賞バスツアー(R4.5,9)



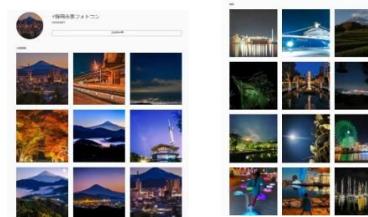
- 静岡ホビーショー参加事業者等に日本平夜景を紹介するバスツアー
- 主にメディア関係者を対象に実施

お堀の水辺活用事業(夜)(R4~)



- 葵舟の夜間運航  
… イベント船として夜間運航を試行
- すんぷらんぷ(R4.11)  
… 住民協働で駿府城公園中堀に照明設置

夜景フォトコンテスト(R4.10~12)



- R4.10~12 フォトコンテスト
- 市公式Instagram上で募集  
… 400件弱の投稿
- 優秀作品は市公式観光ポスター化

ワンダー夜市/シャトルバス(R4.8,10)



- 継続して連携イベントを実施
- ㈱コジマと夜景撮影講座
- JR静岡駅・清水駅からのシャトルバス運行も開始
- R5.3も実施予定

駿府城公園 照明先行整備(R4.12)



- R4.12,20 東御門・巽櫓点灯
- 設計・デザイン:石井幹子デザイン事務所
- 点灯時間:毎日 日没15分後~24時まで
- 季節に応じたカラーライトアップも予定

継続事業

日本平山頂の受入環境整備補助金

- 日本平山頂における照明機器、暖房機器、イベント機器等の購入・レンタルを支援
- R2~数年実施予定
- 夜間の受入環境向上に活用